

# 包装技術講習会

～ワンウェイ段積み治具の開発と

コロナ禍で変化した社会におけるパッケージングの模索～

日時	2022年11月9日(水) 13:30~16:40
会場	「Zoomウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式 ※お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内いたします。
参加費	無料

## プログラム

### 【コーディネーター】

笹徳印刷(株) 企画制作本部 PCCグループ グループマネージャー (包装管理士) 北原 圭介 氏  
あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室長 山本 晃司 氏

13:35~14:40

### 『ワンウェイ段積み治具の開発』

(株)日立物流 ロジスティクスソリューション開発本部 ロジスティクステクノロジー部  
(包装専士) 金井 俊介 氏

(1)自身の経歴紹介、(2)日立物流のご紹介、(3)本論のアジェンダで講演させていただきます。本論の背景として、混載での海上輸送の積載率の悪さが課題としてあり、段積み治具の検討開始を致しました。鋼材製の段積み治具は従来より存在するものの、高額な為、リターンが必須であること、リターンが為の管理工数が莫大であること、治具の組立がむずかしいこと、などの理由で輸出入では普及していませんでした。そこで、ワンウェイに着目し、検討を行い、試行錯誤の末、開発に成功しました。

14:40~14:50 休憩

14:50~16:40

### 『COVID-19 Pandemic で変化した社会におけるパッケージングの模索』

住本技術士事務所 所長 (包装管理士) 住本 充弘 氏

Covid-19 Pandemic の社会への影響は非常に大きく、考え方、社会システムが大きく変化した。Beyond Covid-19 Pandemic で既に世界は動いている。包装においても Covid-19 Pandemic 中に世界は包装の重要性を再認識し、安心・安全を一段と求めるようになった。また SDGs 対応、Circular Economy 対応で循環型パッケージへ大きく舵が切れ特にプラスチック包装は循環型ポリマーの利用促進に向けて世界は早いテンポで動いている。今回は環境対応だけでなく、包装の重要な機能性や包装に対する考え方も変化してきている。国内外の事例を説明し今後の対応すべき方向を模索する。

### 【注意事項とお願い】

「Zoom ウェビナー」を利用したオンライン形式で開催いたします。下記の内容について、事前にご確認ください。

- ①ご利用の端末への Zoom アプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- ②接続回線の状況等により視聴し難い場合があります。通信費・接続利用料金等は、参加者の自己負担となります。
- ③参加申込をいただいた方には、Eメールで参加手順等をご案内いたしますので、事前にご確認ください。
- ④本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得等によるデータ保存行為を固く禁止します。また、講演資料は参加者のみの利用に限定しますので、無断で複写・配付・公開する等の行為を行わないでください。